

令和7年

かわさき白門

発行日2025年8月15日

第40号

発行所 〒212-0024 川崎市幸区塚越2-225 発行責任者 松木 茂夫

！！総会・車椅子贈呈・学術講演会・懇親会が盛大に開催された！！

当番幹事として神奈川県合同白門会を同時開催

支部長 松木 茂夫



松木支部長

今年は、団塊の世代（第一次ベビーブーム世代）800万人が75歳以上となり、超高齢化社会に突入することになった。後期高齢者の急増・社会保障費用増加・医療・介護施設のひっ迫・人手不足などの2025年問題が顕在化する。

また、大阪・関西万博が4月13日に開催され、東日本大震災から14年、阪神大震災から30年、東京大空襲から80年が経過する、様々な記念すべき2025年となる。

一方、喜ばしい事といえば松山英樹選手が米ツアー開幕戦で優勝・8／3の全英女子OPで山下美夢有選手がメジャー初勝利（6人目）を成し遂げたことや、大相撲では石川県出身の大の里が学生出身で初土俵から13場所での最速横綱昇進が5月に確定した。師匠の稀勢の里以来8年ぶりの日本人横綱誕生は、昨年1月の能登半島大震災で被害を被られた方々にも大きな励みになったのではないのでしょうか。しかし何とんでも米国の大統領に振り回されている事や令和の米騒動について先行き不透明な状況が続くことが気にかかることです。

大学では来年度から始まる中長期計画の策定・私学法の改正・文理融合型教育の展開として新学部開設（仮称：2027/4多摩キャンパス内開校予定：情報農学部・スポーツ情報学部）・理工学部の再編成（仮称：2026/4届出中：基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部）。新学部が開校すると12学部となる。総合大学・総合学園（12学部・大学院8研究科・専門職大学院2研究科・4付属高校・2附属中学・9研究所となる）として、地域や社会との交流を積極的に進め、開かれた中



福田紀彦川崎市長様から感謝状の贈呈を受けた松木支部長様からは目録をお渡しした。

中央大学として持続可能な社会実現に貢献していく計画。

今年度の総会・懇親会は当番幹事支部として神奈川県合同白門会（県下10白門会+東京世田谷区支部・東京大田・品川区支部）を実施した。

車椅子の贈呈式には福田紀彦川崎市長様にご来席を頂き目録を贈呈した。

学術講演会は一般の方々を含め約100名が参加し熱心に聞いていた。大好評であった。

（2面に続く）

懇親会においては一龍齋貞奈講談師の流暢な司会進行と新作講談を披露して頂いた。

支部会報の発行と支部Hpを継続実施しています。会報発行に際し、森山功相談役には会報の構成・吉村猛彦事務局長には印刷・発送作業を原稿の寄稿等でご協力いただきました会員の皆様に心から感謝申し上げます。

今後共会員皆様方の積極的な原稿の寄稿をお願い致します。大石克義副支部長にはHp掲載等ご協力に御礼申し上げます。

定時総会に於いて提案した議案等を満場一致にてご承認いただきましたことを報告いたします。

第一号議案 2024年度事業報告：第二号議案2024年度

収支報告・2024

年度監査報告：

第三号議案2025

年度事業活動計画（案）・第4号

議案（2025年度

収支予算（案）・

第五号議案 役員

改選（案）・

第六号議案 その他

滞りなくご承認

いただき感謝

申し上げます。

議事録として掲載

します。



一龍齋貞奈講談師の流暢な司会進行と新作講談を披露して頂いた

！！福田紀彦川崎市長に車椅子の目録を贈呈！！

社会貢献活動として、毎年実施している車椅子の贈呈を福田紀彦川崎市長ご臨席の基目録を贈呈し・川崎市

からは感謝状を頂いた。(写真1面)

尚、車椅子（第6回目・No.6）は川崎市から寄贈先：社会福祉法人セイワ特別養護老人ホーム「みやうち」（中原区宮内）寄贈された。



藤沢白門会会員による応援エール



懇親会会場

中央大学「川崎白門会支部 かわさきと共に歩む川崎白門会」を支援します（卒年順に掲載）

アイコンテクノ（株）

（町田市森野1-37-10）
代表取締役会長 金子 和夫
（昭和34年卒）

不動産賃貸業

NPO法人ピーン理事
千葉 五郎（昭和34年卒）
川崎市宮前区鷺沼2-2-8

東京エクセル法律事務所

弁護士 石渡 光一
（昭和36年卒）
電話03-3503-0921

公認会計士・税理士

大里 慶三
（昭和38年卒）
川崎市幸区南幸町2-20-202

有限会社ピーン

（東京都港区芝大門2-1-18）
取締役 森山 功
（昭和40年卒）

光洋重機建設（株）

（川崎市田島町13-13）
代表取締役会長 光常 武二
（昭和43年卒）

久野修慈学員会名誉会長に感謝・感謝です！！

川崎白門会支部長 松木茂夫

2025年5月24日（土）の定時協議委員会・定時総会において名誉会長に就任された久野修慈様に当川崎白門会を代表して御礼と感謝を申し上げます。

学員会会長として18年間の長きにわたり支部の育成・活性化等にご尽力を頂き学員会の歴史に残る大きな功績を残されました。

学員会の広告塔として全国行脚を実行され、全国各支部の実情や要望などを熱心に聞かれ学員会活動に反映されてきました。

評議員会議長・理事長・学員会会長として、大学・OBの両面から中央大学発展のために顕著な貢献をされてきました。今後は大所高所からご指導をお願い申し上げます。

本当に本当にありがとうございました。



久野氏⑤は名誉会長に

新任会長に芳井氏⑥が就任

芳井新会長は昭和56（1981）年文学部卒で、現在は大和ハウス工業会長を務める。6期18年間会長職を務めた久野前会長は名誉会長に就任した。

また同日の定時協議委員会・定時学員総会では、副会長・常任幹事・幹事・会計監事ら学員会役員も新たに選任された。学員会本部は同日承認された基本方針「大学の変革に呼応した体制の充実に努め、母校の発展に寄与する」に基づく事業計画を、新体制により実施していく。

久野前会長の退任講演を11面に掲載しています
（学員時報から転載致しました）

！！血液を作る最先端技術・学術講演会を開催！！



「人工血液の最前線」をテーマに中央大学理工学部応用化学科 小松 晃之教授（写真⑦）により学術講演会が開催された。テレビ番組でもたびたび紹介されている。

医療に革命を起こす可能性を持つ人工酵素運搬体（ヘモアクト）の生みの親であり、輸血に頼らない医療の実現を目指し、日々研究に情熱を注ぐ小松教授が最新の研究内容や今後の展望について熱く語っていただいた。



熱心に耳を傾けた参加者

2024年度(令和6年) 収 支 報 告 書

(2024年・令和6年 4月1日)～(2025年・令和7年 3月31日まで)

中央大学学員会 川崎白門会支部(かわさきと共に歩む川崎白門会)

2025/6/21(単位:円)

収 入 の 部(科目)	予算金額	決算金額	差額	支 出 の 部(科目)	予算金額	決算金額	差額
年 会 費 (103)	300,000	308,000	8,000	定時総会懇親会 関連費	420,000	317,521	-102,479
※①定時総会・懇親会費 (会費40名)	420,000	388,000	-32,000	年末 忘年会 関連費	230,000	231,375	1,375
年末忘年会会費 (35名)	230,000	138,000	-92,000	会報誌発行費(印刷費) (第38・39号)	120,000	72,215	-47,785
会報誌広告費(12名)	120,000	120,000	0	渉 外 費 小 計	280,000	180,749	-119,251
支部活動支援金 (学員会)	100,000	100,000	0	※②学術講演会関連費 (会費5名)	170,000	88,000	-82,000
※②学術講演会補助金 (大学・実費)	100,000	100,000	0	県下合同白門会交流会 費(会費1名)	80,000	44,000	-36,000
※③学術講演会補助金 (学員会・大学懇親会費)	100,000	100,000	0	ホーム・リビング・関連費 (広告・懇親会等)	30,000	0	-30,000
学員会費納入協力費 (20%@6千円)	6,000	0	-6,000	箱根駅伝費 (広告・運搬費等)	20,000	0	-20,000
※④寄 付 金 (川崎市国庫・車椅子)	20,000	47,061	27,061	総会クラウドファンディ ング(藤沢白門会)	0	30,749	30,749
利 息 収 入	0	47	47	※⑤学術講演会関連費	150,000	104,344	-45,656
雑 収 入	0	2,400	2,400	事業活動費 小 計	230,000	162,598	-67,404
				事務用品・消耗品等	100,000	86,738	-13,262
				運搬費(給食・忘年会・会 報誌)	100,000	71,858	-28,142
				旅費交通費	10,000	0	-10,000
				私設利用料	10,000	4,000	-6,000
				ホームページ・管理費	10,000	0	-10,000
				※⑥社会貢献費(寄付金) (川崎中環道・車椅子)2024年度	50,000	43,100	-6,900
				※⑦社会貢献費(寄付金) (川崎中環道・車椅子)2025年度	0	35,380	35,380
				雑 費(事務用費金)	40,000	13,461	-26,539
				雑 損 処 理	0	198,122	198,122
小 計	1,398,000	1,281,508	-116,492	小 計	1,520,000	1,338,843	-181,157
前 期 繰 越 金	1,455,674	1,938,008	482,334	次期繰越金(予備費)※	1,331,674	1,882,673	550,999
合 計	2,851,674	3,219,516	367,842	合 計	2,851,674	3,219,516	367,842

※引継ぎに伴い収入・支出・現預金等に相異が発生(差額198,122円
不明なため)

財 産 目 録 ※

2024年(令和6年) 3月31日 現在 (単位:円)

科 目	備 考	金 額
現 金	手 元 現 金	15,832
現 金	手 元 現 金	12,375
郵便貯金	ゆうちょ銀行 096支店(通帳)	1,438,297
郵便貯金	ゆうちょ銀行 096支店(振替)	28,834
普通預金	三井住友銀行 上大岡支店	28,300
普通預金	横浜信用金庫 川崎支店	361,035
合 計		1,882,673

※ 財産目録=次期繰越金(予備費) 1,882,673 ※利息欄に記入(郵便・三井住友・横債)

2024年度(令和5年) 監査報告

2025年4月 28日会計監査砂田慎二自宅に於いて、2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の会計監査を実施しました。会計帳簿と領収書等諸帳票と照合した結果、収支報告書記載の金額と一致し正確に処理されている事を確認しましたので報告いたします。

2025年(令和7年)4月28日

会計監査
会計監査砂田 慎治
石渡 光一調印済
調印済

2025年度

(1) 5/24(土) 学員会総会・協議委員会・支部長会議が開催され、学員会久野修慈会長が18年間の長きにわたり会長をお引受けされてきましたが、今回ご退任され名会長として推挙され満場一致で承認されました。後任は芳井敬一様(南甲クラブ会長・大和ハウス工業株式会社会長)が学員会会長に就任されました。川崎白門会から15人が出席

(2) 6/1(日) 多摩川美化運動に9名が参加、終了後はランチを兼ねた懇親会を久々に実施(昨年は雨天中止・それ以前はコロナで中止)毎年参加していますがゴミは年々少なくなり美化運動の効果が出ている結果と思われます。むしろ、多摩川河川敷よりは町中の方がゴミは多いのではないかと

2024年度

R6.5.12 秦野名水巡りハイキング

R6.5.14 第2回三役会・第1回役員会

R6.6.8 支部総会

R6.6.21 第2回役員会

R6.8.20 川崎港巡視船クルーズ

役 員 名 簿

支部長 (会長)	松木茂夫	幸区	S4 4
会計監査	石渡光一	宮前区	S3 6
副支部長 (副会長)	酒巻忠雄	多摩区	S3 9
(8名)	清水雄一	中原区	S4 6
	茂岡幹弥	横浜市	S5 3
	向坂光浩	多摩区	S6 0
幹事長	安岡博文	高津区	S5 3
事務局長	吉村猛彦	横浜市	S6 0
事務局次長	山田信昭	多摩区	S4 6
兼副幹事長			
副幹事長	中村淳子	多摩区	S5 3

幹事
(18名)

河内隆史	座間市	S4 6
伊藤 弘	中原区	S5 6
矢崎守孝	幸区	S5 6
西巻 亨	町田市	S5 9
藤井智弘	川崎区	S6 3
日笠健二	麻生区	H3
矢口統一	川崎区	H7
小林直樹	川崎区	H1 6
白川勝人	高津区	H1 7

活動計画

と思われ一人一人のより一層のマナー向上に期待したい。

(3) 歴史散歩・ハイキング：国分寺名水・湧水・寺社巡りツアー6/8実施9名参加

(4) その他イベントを順次開催予定

- ①川崎港湾視察クルーズ
- ②中大出身者の落語・講談会
- ③箱根駅伝2026/1/2・3沿道応援等々
- ④その他県下各支部開催のイベントへの参加等々
- ⑤忘年会開催予告 12月13日(土)昼間予定 小杉精養軒多数のご参加を期待しています。

活動報告

- R6.10.6 都電荒川線の旅
- R6.10.16 第3回役員会
- R.6.12.9 年末懇親会
- R7.1.2/3箱根駅伝応援・新年会
- R7.1.23 第4回役員会
- R7.3.11 第5回役員会

2025年度(令和7年)収支予算(案)

(2025年・令和7年 4月1日)～(2026年・令和8年 3月31日まで)
中央大学学生会 川崎白門会支部(かわさきと共に歩む川崎白門会)

収入の部(科目)				支出の部(科目)			
予算金額	前年度予算額	前年比		予算金額	前年度予算額	前年比	
年会費(100名)	300,000	300,000	0	※⑤定時総会懇親会 関連費	900,000	420,000	480000
※①定時総会・懇親会費(会員100名)	900,000	420,000	480,000	年末忘年会 関連費	230,000	230,000	0
年末忘年会会費(35名)	230,000	230,000	0	会報誌発行費 関連費(第40・41号)	120,000	120,000	0
会報誌広告費	120,000	120,000	0	渉外費 小計	280,000	280,000	0
支部活動支援金(学生会)	100,000	100,000	0	県下支部・白門会交流会費(会費負担)(支部・白門会)	170,000	170,000	0
※②学術講演会補助金(大学・実費)	100,000	100,000	0	県下合同白門会交流会費(会費負担)	60,000	60,000	0
※③学術講演会補助金(学生会・大学差額実費)	100,000	100,000	0	ホームカミングデー関連費(広告・懇親会等)	30,000	30,000	0
学生会会費納入協力費(20%)(@6千円)	0	6,000	-6,000	箱根駅伝費(広告・運搬費等)	20,000	20,000	0
※④寄付金(川崎市贈呈:車椅子)	50,000	20,000	30,000	※⑥学術講演会関連費	150,000	150,000	0
利息収入	0	0	0	事業活動費 小計	230,000	230,000	0
雑収入	0	0	0	事務用品・消耗品等	100,000	100,000	0
				通信費(事務局費含年1万)	100,000	100,000	0
				旅費交通費	10,000	10,000	0
				私設利用料	10,000	10,000	0
				ホームページ・管理費	10,000	10,000	0
				※⑦社会貢献費(寄付金)(川崎市贈呈:車椅子)	50,000	50,000	0
				雑費	40,000	40,000	0
小計	1,900,000	1,396,000	504,000	小計	2,000,000	1,520,000	480000
前期繰越金	1,882,673	1,331,674	550,999	次期繰越金(予備費)※	1,782,673	1,207,674	574999
合計	3,782,673	2,727,674	1,054,999	合計	3,782,673	2,727,674	1054999

※収入は控えめに支出は多めにを基本

※定時総会・学術講演会・懇親会(2025/6/21・土)・忘年会(2025/12/13・土)・会報等の支出は原則各収入毎の範囲内を基本
※定時総会で川崎市に「車いす」を贈呈予定で予算計上

※30周年記念事業(2023/4)はコロナにより見合わせとして40周年(2033年4月)で実施予定

※次期繰越金のうち車椅子用寄付金残高	28,300
--------------------	--------

(寄付金前年度繰越28300+寄付収入50000-支出50000=28300円)

(任期：2025年6月総会から2027年6月総会まで)

染谷 平	中原区	S50
中山 稔	川崎区	S56
波平英一郎	日光市	S58
堤 和也	川崎区	S62
向野龍彦	多摩区	H1
清田英之	横浜市	H5
志水晋介	東京都	H11
和田光浩	大田区	H16
稲葉てい菜	品川区	H21
(一龍齋貞奈)		

(幹事)

名誉会長	金子和夫	宮前区	S34			
参与	織田勝久	宮前区	S62	鈴木朋子	麻生区	S62
(5名)	嶋崎嘉夫	川崎区	S63	青山圭一	多摩区	H3
	橋本 勝	多摩区	H10			
相談役	大谷正勝	中原区	S39	森山 功	幸区	S40
(4名)	千葉景子	横浜市	S46	菅原 進	多摩区	S48
顧問	伊奈 忍	多摩区	S34	千葉五郎	宮前区	S34
(7名)	二村 篤	麻生区	S34	大里慶三	幸区	S38
	長谷川忠司	三郷市	S49	松島健寿	多摩区	S42
	下村勝己	世田谷区	S52			

役員・会員 ご紹介

「女性の一言」

昭和41年商学部卒
大里 慶三



商業高校を卒業して念願の銀行員として社会人のスタートを切りましたが入行後、先輩女子職員からある程度の地位に就くには大学は出ておく

ことが必修条件だと教えられました。なぜか男子職員からこのような教えが無かったことは、今でも理解できませんが、女子は現実を直視し生活を実感しているのだと後でわかりました。銀行を選択したのも、銀行の店舗は朝9時にガレージがあき午後3時に閉まる営業時間が1日わずか5時間で楽な仕事だと勝手に思い込み銀行業務を調べもしないでただ勤務時間が少ないという短絡的な理由が就職選びでした。しかし、これからの人生に銀行で経験したことが多いに役に立ったことは感謝しております。

早速大学選びの資料集めで川崎（勤務先）から学校

への通学時間、入学金・月謝が今の給料（月8,400円当時は高い方です）で賄える金額かを見ながら探した結果中央大学が目に入りました。国家試験に強い、教授には国家試験委員がいる、弁護士になるには法学部がよいなど学校の特色を考えての学校選びではなかったかと思います。要するに時間、費用の制約を受けての学校選びで最初に条件を満たしてくれたのが中央大学でした。商学部3年の時某教授のゼミの試験が本日举行されるとの情報から早速挑戦し合格しましたのが後々役にたっております。合縁、奇縁、校縁の何が人生に影響するか分かりませんが、不思議な縁が人生を左右するのは確かだし、ゼミ仲間とは未だに付き合いが続いています。

数十年前の先輩女子職員の一言を素直に聞いたこと、中央大学を選んだことが何やら我が人生に最大のプレゼントを神様が与えてくれたように感じました。女性の管理職が多数在職している企業は成長性が期待されるといいます。企業だけでなく学校でも同じことがいえるのではないのでしょうか。2ヶ月に1回の「川崎白門会」の役員会に出席し枯れ木も山の賑わいと称し末席を汚している昨今です。

平成7年法学部卒
矢口 統一

みな様、初めまして。1995年法学部卒業の矢口統一（やぐちもとかつ）です。

私は、長野県長野市出身で、中央大学在学中は多摩市や調布市にアパートを借りて通学しており、大学卒業後もほぼ都内で生活して来ました。川崎市との関係は、弁護士として初めて所属した法律事務所が川崎市内の事務所だったことが始まりです。

私は、現在、川崎駅近くで法律事務所を経営しています。私を含め4名の弁護士が、各々専門分野を持って業務にあたっていますが、私は、県弁護士会の犯罪被害者支援員会で川崎班班長を務めていると同時に、弁護士会川崎支部の成年後見等対策委

員会に所属していることから、成年後見事件や相続事件などを主に担当しています。また、最近では、シニアライフの過ごし方の変化に応じて、所有不動産の処分等を行う相談も増えてきました。子供がいないご夫婦だけではなく、子が自身で居住用不動産を有している（独立して生計を立てている）ご夫婦からも相談を受けることがあります。「財産を残して相続人に相続させる」が当たり前ではなく「自分自身や夫婦で使い切る」という考え方が認知認容されてきているように感じます。

また、中央大学との関係では、私は、法科大学院（ロースクール）で刑事模擬裁判の授業に実務講師として関与させていただいています。学生さんたちには犯罪被害者支援の視点から刑事裁判をみるとどのように見えるのか等を伝えています。一方

で、弁護士になり実務に就くと学生だった頃の新鮮な視点が薄れてしまうものです。定期的に学生さんと議論を行うことで昔を思い出したり新たな発見に気が付いたりしながら楽しく授業を行っています。

最後に、趣味や余暇の過ごし方に関する話も記載したかったのですが、そろそろ予定文字数に達してしまいそうですのでこの点はまたの機会にでも。（写真は、結構前の写真です 笑）



！！2024 年末懇親会（忘年会） 前年に引き続き・盛大に開催された！！

2024年12月14日（土）15時～武蔵小杉「精養軒」にて、前年に引き続き、年末懇親会（忘年会）が盛大に開催された、23名と（昨年32名）が出席し大いに交流が図られた。

吉村猛彦事務局長の司会進行により和やかに始まった。

松本茂夫支部長が冒頭、秋の叙勲で光常武二副支部長が「瑞宝単光章」を受賞され、みなさまでお祝いを申し上げますと挨拶があった。それを受けて光常武二副支部長が受賞の喜びを話された。箱根駅伝の近況報告・来年度の総会（2025/6/23（土））は神奈川県下合同白門会の当番幹事であり集客に力を注いでほしいとの要望がありました。また、諸物価値上げで参加会費を抑えるために、初めての試みとして、精養軒「特製弁当」にしましたが皆様のご感想をお聞かせください。

第一部は講演会 中大の後輩・若手美人女流講師一龍齋貞奈氏（川崎白門会幹事）（二つ目2022年4月昇進）・演目は「徂徠豆腐」・「徂徠豆腐」は江戸時代中期の儒学者「荻生徂徠」の逸話が語源と言われており、語りは、働き者の豆腐屋七兵衛さんと一人の侍が登場する、貧しい暮らしをしながら勉学に励む侍をほっておけない七兵衛さんが、毎日、おからを差し入れすることとなったが、

ある日突然七兵衛さんが高熱を出しておからを届けられなくなった・・・という「人の情けが心を打つ話」であり、落語・講談・浪曲等で幅広く語られている演目である。約30分にわたる熱弁により参加者も大いに心を打たれました。

5年前の前座時代よりかなり上達し芸に一層磨きがかかり一回り大きくなりました。

第二部は、懇親交流会であり和気あいあい大いに盛り上がりました。お互いの近況を語り合う人が多かった。

お馴染みなった抽選会は一龍齋貞奈講師の司会進行により始まりました。参加者全員に景品はいきわたりました。最後に残った4つの景品は貞奈講師とのジャンケンにより勝った人に配布された。

最後に茂岡幹弥幹事の音頭により、校歌・惜別の歌（貞奈講師が由来についてナレーション）を全員で合唱し、安岡博文幹事長の中締め・閉会挨拶により各自家路についた。久しぶりの楽しいひと時であった。今回は昨年よりも9名少なかったが来年は一人でも多くの会員の参加を期待しています。

※一龍齋貞奈講師のプロフィールと勉強会の案内・後輩の育成の為是非勉強会にお足を運んで頂きたいと思います。



2024/12/14忘年会にて「徂徠豆腐」を熱演する一龍齋貞奈講師



2024/12/14忘年会にて「秋の叙勲・瑞宝単光章」受賞の挨拶・光常武二氏



！！日華友好会台湾訪問・大いに盛り上がった国際交流！！

川崎白門会 会長 松木茂夫

学員日華友好会支部（当会は2000年1月に発足）が2025年5月6日（火）～9日（金）3泊4日で18名が参加して台湾訪問を実施した。今回は「友好の桜」鑑賞目的ではなく下記のような日程で実施した。

川崎白門会からは6名が参加した（金子和夫名誉会長・森山功相談役・松木茂会長・中村淳子副幹事長・稲葉えり菜（一龍齋貞奈講師）・稲葉進太郎）

5/6（火）羽田空港10：50発、台北松山空港13：30着エバー航空189便にて、連休最終日の為比較的空席のあるゆったりとしたフライトでした。

到着後、大型専用バスにて最初の訪問地「国立中正紀念堂」を表敬訪問。周囲にある「友好の桜」は2月～3月にかけて今年も美しい・淡いピンク色の花をさかせていたとの事でした。

台湾の人々の憩いの場所となっており、日本の観光客も必ず訪れる観光名所となっている所である。

（写真①）衛兵交代式（蒋介石像の左右に衛兵が立ち1時間ごとに交代していた）は（2024. 7. 15）廃止されがらんとした広場になっていた。

その後、本日の宿泊場所「嘉義プリンスホテル」のある嘉義駅迄台湾新幹線にて移動、台北駅～嘉義駅まで約1時間30分車窓からの風景を楽しんだ。

5/7（水）阿里山ご来光見学の為「阿里山賓館」宿泊場所迄大型専用バスにより移動、途中「奮起湖」（標高1400m・湖は現地語で「ちりとり」「窪地」



写真①「友好の桜」前で

を意味し、周辺の地形と雲・霧に覆われた様子が湖のように見えることから命名・実際に湖はない。）ノスタルジックな九分の街並みに似ている奮起湖老街を散策、奮起湖弁当の駅弁を嗜んだ。その後高山茶で有名な阿里山茶を茶摘み娘と一緒に茶摘みを経験した。（写真②）

5/8（木）早朝3時起床・4時出発で阿里山のご来光見学を全員にて実施、（阿里山国家森林遊楽区標高2216m・小笠原山展望台）ホテルから徒歩にて「阿里山駅」へ「祝山線」にて急勾配の山道をギシギシ軋みながら30分揺られて「祝山駅」に到着、展望台までの急坂をご来光を期待して15分登ったが、雲に阻まれその瞬間は残念ながら見られなかった。雲海が奇麗であった。（写真③）

その後専用大型バスにて次の目的地「鳥山頭水庫」に移動。八田與一技師没後83年墓前祭に公式参列した。（石川県金沢市出身で台湾の不毛の土地にダムを建設・このダムとそこから流れる農業用水を整備した人物で台湾で最も尊敬される日本人である。）

式典には特設会場が作られており、頼清徳総督（第16代）のご来臨の基、台湾300名、地元石川県から村山卓金沢市長はじめ日本200名総勢500余名が参列して挙行された。日華友好会松本彥彦会長が代表して献花した。（写真④）



（写真②）茶畑にて

その後、台南駅から台北駅迄戻り（約2時間）台湾白門会（同学会）との交流会を開催。

台湾白門会から9名が参加総勢28名の盛大な懇親会となった。松本会長の挨拶の後、サプライズゲストとして一龍齋貞奈女流講師（今回ツアーに同行・2009年商卒・二つ目）の講演会を実施、演目は新幹線車内で考えたという新作講談「台湾鉄道の父・長谷川謹介」を披露。万雷の喝さいを浴びた。同講師にとっては初の海外講演会となった。

5/9（金）台湾国立中央大学に表敬訪問。同大からは張中白国際長・許協隆前国際長・簡秘書・蔣・国際處事務の方々が出席された。「友好の桜」前にて記念写真後、桜写真コンテストの撮影映像等を視聴後、大學近くの「新陶芳餐廳」レストランにて豪華な客家料理のランチをご馳走になった。宴は途中から生オケで大盛り上がりであった。前許国際長の「長崎は今日も雨だった」・蔣さんの「津軽海峡冬景色」の熱唱・流暢な歌声にうっとり、まさか台湾で昼間からカラオケとはびっくりした。

松本会長から冒頭の挨拶の中で「友好の桜」を基に今後は「心と心の絆」を構築していきたいと話があり、最後は松木茂夫副会長の一本締めにより来年度の訪問を誓いお開きとなった。

その後、一路エバー航空190便にて台北松山空港（16：20発）から羽田空港（20：20着）へと全員無事に帰路に着いた。今回は例年とは一味違う貴重で大いに盛り上がった国際交流となった。



（写真③）阿里山山頂雲海をバックに



（写真④）頼総統と松本会長のハグ挨拶

！！梅雨入り前の湧水・名水巡り実施！！

春の歴史散策・ハイキング（幹事茂岡幹弥・向野龍彦）「立川・国分寺湧水&寺社巡りの旅」が雨の合間をぬって時折日差しがさす曇天の中実施された。

立川・国分寺地区は都下でも有数な湧水地区で立川崖線といわれている旧多摩川の海岸段丘から豊富な地下水が湧出していることで知られている。

参加者は初めての参加者含め9名であった。（順不動・敬称略：石渡伸幸・伊藤弘・大村裕彦・向坂光浩・茂岡幹弥・中村淳子・松木茂夫・光常武二・森山功）

午前10時南武線矢川駅集合し南武線沿いを15分ほど歩き「矢川緑地」を散策・尾瀬さんからの美しい湿地と湧水にしばし暑さが癒された。（2025年6月8日）



矢川緑地にて

令和6年、中央大学出身力士・中央大学相撲部後援会・鈴木後援会長を偲ぶ会 出身力士・学生合同稽古の観戦に参加して

令和6年12月22日日曜日に、当会の増田隆先輩に誘われて、中央大学相撲部道場にお邪魔して、学生稽古を出身力士達がつけるのを拝見しました。

学生力士も体が大きい学生もいて、稽古で体が当たる音など迫力がかなりありました。中でも先場所10勝5敗と三役目前の豪ノ山関の踏ん張りの力は、学生、十両力士とも押すことが出来ず、流石だなと、思いました。また先場所途中休場の他の幕内力士、十両力士も体が大きく凄く強そうに感じました。怪我さえしなければと思えました。

合同稽古の後、相撲部の学生たちが作りました美味しいちゃんこ鍋（塩味、みそ味）をビール、ウーロンハイで頂きました。ちゃんこ鍋は、とても美味しかったです。特に、私と増田先輩のテーブルに豪ノ山関がいてくれたことも有り、期待されているエース級の学生達も同席してくれて、楽しい会話になりました。

令和6年は2部に降格してしまった中央大学相撲部の令和7年1部復帰に向け、田中新監督、学生達は頑張ってくれると思います。

大学での飲食後、私の地元の生田駅近くの居酒屋で軽く飲み、その後、増田先輩宅にお邪魔して、更に楽しい飲食をさせてもらいました。令和6年は私にとって還暦の本厄で、良くないことだらけでしたので、年末に良い経験をし、令和7年の後厄は上手く乗り切れると思いました。最後にこの



中央大学相撲部道場を訪問 写真前列増田さん㊦と筆者・向野㊦です

ような経験を下さいました増田隆先輩に感謝して、お礼申し上げます。

（令和7年1月1日 向野龍彦）

！！快晴に恵まれた多摩川美化清掃！！

多摩川の清掃活動は「多摩川美化活動」として川崎市が中心となり、実施されています。

この活動は、河川敷の清掃・草刈り・ゴミの回収等を行い多摩川の環境保全に貢献する目的で行われています。今年は6月1日（日）午前9時～中原区管轄の丸子橋からガス橋の区間で行われました。川崎区を始め各区で同時に実施されています。昨年度（2024年）は雨天の為中止となっていました。

今回で46回目を迎えました。毎年参加していますがここ数年はゴミを探すのが一苦労するほどきれいになっていました。利用者のマナーが向上してきた結果であると感じた次第です。「かわさきと共に歩む川崎白門会」として社会貢献活動の一環として川崎市への貢献活動です。当白門会からは6名が参加しました。（森山功・砂田慎治・伊藤弘・向坂光浩・大村裕彦・松木茂夫）

当日は新丸子駅改札口に8時30分集合し、9時開会式が行われる中原区の会場に到着、27団体・3000人強が参加した。

二時間弱の活動の後、デニースにてモーニングを食べながら喉を潤し懇談した。大変有意義な活動に参加者一同満足して家路についた。

役員・会員の皆様方には本活動にご理解いただき次回は多くの参加者を期待しています。



開会式会場にて

学員の力で強い大学を創ろう

問題解決の18年間と学生時代の原体験

久野修慈学員会名誉会長



久野修慈学員会名誉会長は2025年5月24日の学員会全国支部長会議における学員会長退任にあたって、18年間の会長在任を振り返り、多摩移転反対から始まった大学との関わりや学生時代の体験を語った。

諸問題の解決や調整で 大学や学員会の職に就く

中央大学学員会は明治21（1988）年に花井卓三先生らによって設立され、中央大学の歴史と共に歩んできました。戦後の歴代学員会長は、東映の大川博社長が8年間、最高裁判所判事の谷村唯一郎さんが13年間、日本の戦後法曹界をリードされた堂野達也先生が7年間、法律家の大西保先生が14年間、国会議員で大臣を3回務められた中山正暉先生が3年間、そして私が18年間務めさせていただきました。

私は本来 大学の仕事をしような者ではないと常々考えておりますが、その私が学員会や大学の諸々に関わるようになったのは、さまざまな事情からです。最初の関わりは中央大学の多摩移転問題でした。私の所属する南甲倶楽部のリーダーは、当時、大川さんとそごうの水島広雄さんたちでした。その方々は多摩移転に反対しており、私にも反対の先頭に立つように言われました。徹底的に反対しましたが、結果的に文系の全面移転が行われてしまいました。

その後、今度は南甲倶楽部出身の評議員会議長の不用意な発言から紛糾しその收拾のために私に評議員会議長をするようにと要請がありました。やむを得ず評議員会議長を引き受けることになりました。これが私の大学での仕事の出発点でした。そのような中で、大学の諸問題を解決し、さらに発展を図るためにと、大学の理事長にイトーヨーカ堂の鈴木敏文さんを推そうという声が上がりました。その頃の学員会会長の中山先生と私とが中心となって進めましたが、その間には、学員会の他のグループとの軋轢で7ヶ月間も理事長が決まらない状況も生じました。そして鈴木理事長が誕生しましたが、今度は、中山先生と鈴木さんの間で意見の相違があり、大喧嘩となってしまいました。その結果、私たちの説

得もむなしく中山先生が会長を降りてしまい、私が後任として学員会長を引き受けることになりました。それが、平成19（2007）年のことです。

さらにその後、鈴木さんが理事長を辞められるということで、私は理事長職も受けることとなってしまったわけです。このように私は、もめ事が生じる中で、その解決や調整を依頼され、その中で学員会や大学の仕事を引き受けてきたということです。

大学の仕事を通じ、私は資金問題や125周年の募金活動、ロースクールの定員枠獲得、横浜附属校の用地確保、法学部の都心展開などにおいて、相応の役割を果たしてきたと自負するところです。

学生時代の寮の体験が 社会に出て大いに役立つ

学生時代、私は同郷・福井県出身の吉田久志先生から大きな影響を受けました。吉田先生は戦時下にあつて、大政翼賛会選挙無効判決を下した裁判官です。法律家としての強い信念を持った方で、私の人生観に大きな影響を与えてくださいました。

福井から上京した私は、学生寮で4年間を過ごしました。私が入学した昭和29（1954）年、中央大学の寮は板橋から下北沢に寮を移転し、新しい寮に約200人の学生が入居しました。私もその一人でしたが、検事長の息子、裁判官の息子などが多くいました。そういう家庭の子らでしたが、個性的というか、不良もたくさんいました。私は自然と寮生たちのまとめ役になっていました。喧嘩の仲裁をしたり寮の規則を守らせたり、時には大学側との交渉役を務めたりしました。200人もの個性ゆたかな学生たちをまとめるのは容易ではありませんでしたが様々な背景を持つ人々をまとめ、方向性を示していかなければならぬという経験が、後の人生で非常に役立ちました。

社会人になって水産業界で働き、入社早々に南極に2回、北極に4回行きました。南極では捕鯨母船に乗りました。北洋ではサケマス母船で、ソ連の監視官が同乗する中での操業でした。中央大学卒業生で南極と北極の両方に行ったのは、私だけではないでしょうか。水産業界は厳しい世界で、様々な困難な人々をまとめる仕事でした。まさに学生時代の寮生活で培った経験が活かされたわけです。

（12面に続く）

すべての学員の協力で 強い大学を作っていこう

このように、私の社会人経験は魚屋から始まっています。それがさまざまな経緯で大学に関わるようになったわけです。そして私なりに、さまざまな問題の解決に取り組んでまいりました。

これからの大学間競争に勝ち抜くため中央大学は強い大学でなければなりません。そのためには、大学の経営陣が創立時の原点に立ち返り、新たな挑戦をしていくことが重要です。

現在議論されている新学部設置についても、もっと早くから検討すべきだったのではと思いますがとにかくしっかりとしたものを創ってほしい。その一つ、農業はとても大切な分野だと考えます。現在、農業、漁業、林業の専門高等学校の卒業生約3000人のうち、その分野に進むのはわずか90名だと言われています。2900人以上が他の道に進んでしまっています。私は仕事を通じ政府にも、これらの分野のリーダー育成に国家公務員並みの待遇を与えるよう提言しています。こうした大切な分野の学生を育成する大学にもなっていくことは大いに期待したいと思っています。



2023年法学部の拠点として茗荷谷キャンパス（文京区）が完成した

学員の皆様には、時に厳しい意見もぶつけながらも、母校・中央大学の発展にご協力いただきますようお願い申し上げます。中央大学を長年愛し、心から応援していただいている皆さま方と一緒に、より良い大学を作っていきましょう。

18年間、皆様本当にありがとうございました。そして、後任の芳井さんをよろしくお願いします。

（会員時報から転載致しました）

！！横浜白門会支部の「花見・屋形船」に参加して！！

2025年（令和7年）4月5日（土）13時30分出航。当川崎白門会からは、森山功相談役・山田信昭事務局次長・茂岡幹弥幹事・安岡博文幹事長の4人が参加してきました。素晴らしい天候に恵まれ、大川沿いの桜も満開でした。屋形船は満席で、参加者した神奈川県下各白門会の皆様方も交えて、楽しい交流会となりました。出航から2時間を経過した15時30分に船着き場に到着し、盛会のうちにお開きとなりました。

た。来年度は、当白門会からももっと多くの方の参加を希望します。（安岡 博文）

■編集後記■あーっ、総会が終わった！これで少しゆっくりできるかと思っていたら、本職の方が忙しくなってしまいました・・・今年度は学術講演会3件に出席しました、「人工血液開発の最前線」「特殊詐欺と刑事法」「高齢期の働き方、過ごし方（きょうようと、きょういく）」どれも興味深く聴講させて頂きました。学ぶって楽しいですね！（事務局長・吉村猛彦）

中央大学「川崎白門会支部 かわさきと共に歩む川崎白門会」を支援します、（卒年順に掲載）

協親自動車（株） 川崎市高津区北見方3-8-5 顧問 松木茂夫（昭和44年卒） 中央大学評議員・学生会幹事	城南予備校 （川崎区駅前本町22-2） 代表取締役 下村 勝巳 （昭和52年卒）	株式会社TRAアート 代表取締役 茂岡 幹弥 （昭和53年卒） 東京都中央区新川2-7-15林ビル4階
田賀法律事務所 弁護士小林喜浩（昭和59年卒） 東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビルディング8階	道しるべ法律事務所 弁護士矢口統一（平成7年卒） 川崎区砂子1-5-1KJ砂子ビル4階 044-211-1115 moto-yaguchi@gmail.com	行政書士志水法律事務所 外国人雇用・ビザのことなら 志水 晋介（平成11年卒） 080-7023-0485